

第1回 精華町情報化基本計画検討懇話会 議事要旨

(1) 精華町の情報化の概要について (事務局が説明)

委員の発言はありませんでした。

(2) 情報化基本計画の改定について (事務局が説明)

委員の発言はありませんでした。

(3) 今年度の進め方について (事務局が説明)

委員の発言はありませんでした。

(4) 討議

委員 事務局から説明いただいた中で、「人を大切にするまちづくり」、「暮らしを支え、活力を生み出すまちづくり」、「人と自然との豊かな関係をめざすまちづくり」という基本方針が挙げられています。我々が情報化の基本的な方向を考えるためにも、これらの方針について噛み砕いた説明をお願いします。

事務局 次回の懇話会にて資料を提示の上、説明させていただきます。

副会長 議論に先立ち、現行基本計画の達成度を確認したいと思いますので調査をお願いします。

事務局 情報化基本計画はあくまでも理念や方向性のみを示した内容になっておりますので、行政内部ではその下に基本計画を実際の施策に結びつけるためのアクションプラン、行動計画をまとめています。

現在、そのアクションプランの項目毎の進捗度合いを担当各課で整理していますので、次回の懇話会にてそれらをご説明させていただきます。

会長 今指摘があった内容につきまして、先ほどの基本方針との関連も含めてご提示いただきますようお願いいたします。

委員 当「基本計画検討懇話会」ですが、「懇話」とはどういったものかのイメージが沸きません。この名称には何か意図があるのですか。

第1回 精華町情報化基本計画検討懇話会 議事要旨

事務局 当懇話会は、外部の委員の皆様方からご意見を頂戴する場という位置づけで考えています。情報化基本計画自体は行政が責任を持って策定しなければならないものですので、この計画の内容の責任を委員の皆様方をお願いをするということではなく、本町が基本的な方向性を作るに当って、より広い意見に耳を傾けながら基本計画に反映していく場ということで、このような名称にしています。

会長 5年前の現行情報化基本計画の策定時と比べて周囲の環境が変わっていますが、精華町としてICT関係での社会の変化に追随していく、もしくは先取りしていくというような計画や構想はお持ちなのでしょうか。それとも、そういったものも含めてこの場で検討・提案していくべきものなのでしょうか。

事務局 昨今の経済状況におきまして、本町も財政が厳しいということもあり、世間より先取りした取組みが持てていない状況です。大きなお金をかけるということは中々できないのですが、今回の改訂の中では住民の方々に夢を持っていただけるような取組みや構想を打ち出していきたいと思っております。

会長 環境は常に変わっていくものですので、それを見越した上で、国の旗振りも利用しながら、投資やインフラの整備をしていくことが必要かと思えます。

国は産業や教育を活性化させる手段としてICT化を強く推進しようとしていますが、行政という立場からは、情報ディバイドと言われる、知識のある人とない人、あるいは世代間での格差が問題になってくると思えます。

情報化の流れという視点からすると、一番大きな変化は来年7月24日の「アナログ放送の終了」で、すべてのメディアがデジタル化されることではないかと思っています。テレビのデジタル化は住民レベルでの意識向上にも繋がってきますので、そういったことも見据えた懇話をこの会議でできればと考えています。

副会長 現在は、テレビを通じた情報化に流れが変わっていったと思います。5年前に基本計画を策定したときはパソコンに対しての情報の発信を念頭においていたと思いますが、今はテレビにLAN端子を差し込むとインターネットに直接接続することができるという状況になりつつあります。来年の7月24日にアナログ放送が終了しますが、その後マルチメディア放送というものが始まってきますので、更に放送と通信の融合が進むと考えています。

今回策定する計画についても、テレビやモバイル端末なども視野に入れた上で、なおかつ情報ツールを使う方々のスキルについても考える必要があると思います。

第1回 精華町情報化基本計画検討懇話会 議事要旨

- 会長 精華町のケーブルテレビ普及率はどの程度なのでしょうか。
- 副会長 およそ60%です。
- 会長 このように精華町はケーブルテレビの配信が進んでいる地域ですので、モデル地区にもなり得ると思います。情報化の大きな変化が来年起こる訳ですので、当懇話会でもそれらについて考える必要があると思います。
- 委員 行政としてどういうレベルまでサービスを提供するのかという点について、指針を示しておく必要があるのではないのでしょうか。
- 会長 今お話ししたのは行政で実行されているものを増やすという意味ではありません。例えば本町で実施されている自動交付サービスでも、昔と発行書類の中身は同じでも、ICT化により手軽に素早くできるということで住民サービスになっています。それと同じことがインフラを利用するとやりやすいのではないかと思います。
- 委員 お年寄りのような遠出がしにくい情報弱者のために、一つの案として、各地の集会所に利用できる場があれば良いと考えています。集会所や学校のICT設備はどのようになっていますか。
- 事務局 ICTボランティア団体「ITゆう」が、集会所での相談会を3年前から実施されています。学校でも、シニアスクールとして学校とITゆうが共同しながら徐々に講座を実施しています。これらは現行計画の中でもうたわれており、利用者のニーズを拾い上げながら今後も同じ方向性で進めていきたいと考えています。
- また、集会所には地域の防災拠点という意味もございいますので、前回の基本計画に基づきインターネット環境の設置を順次進めています。まだ全ては完了していませんが、多くの集会所でインターネット環境は整いつつあるという状況です。
- 副会長 小中学校については、今年デジタル放送化対応が全て完了していますので、それに伴いインターネット環境の整備も全て完了しています。
- 委員 学童保育についてはいかがでしょうか。
- 事務局 現在、学童保育の教室まではインターネット環境は整っていない状況です。
- 委員 情報弱者への対応についてお話が出ましたが、私どもが高齢者を対象にボランティア活動でパソコンを教えている中で、やりたいことをやってもらうということ、そして徐々に積み重ねていくことが大事だと感じています。勉強される方の意欲を活かしていけるように活動しています。

第1回 精華町情報化基本計画検討懇話会 議事要旨

会長 現在の流れはタッチパネルになっておりますので、数年後にはキーボードは時代遅れになっているかもしれません。主要なタッチパネル製品が出てから数年が経ち、影響が現実味を帯びてきている頃ですので、そういうことも我々の考えの中に入れていく必要があるかと思えます。

委員 パソコンでは非常に様々なことで可能ですが、一つ一つを覚えるのはそれほど大変なことではありません。また、テレビでLANケーブルを差し込むと双方向通信が可能であるということは、ほとんどの購入者をご存知ないと思いますが、テレビですとリモコンで操作できますのでキーボードに比べて非常に簡単です。そういった簡単なところから始めて、奥深くへと進んでいただくことが必要だと思います。面白さや魅力をどうやって伝えていくかが大事だと思っています。

会長 インターネットには悪い側面もありますので、子どもにそういった経験のみをさせないような見直しも今後必要になってくると思います。

精華町で実施されるICT化は、全町民がキーボードを打てなければならないということではなく、今整備されつつあるICT技術を如何に活用していくかという点が重要だと感じています。

委員 現在の日本全体に当てはまると思いますが、民間だけ、あるいは行政だけと言った個別の団体で解決できる問題は少なくなっていると思います。それぞれの立場の人が知恵を出し合うことで問題解決につながるような議論をしていきたいと考えています。

今後精華町も、高齢者の孤独死や行方不明など日本社会で起きている様々な問題と向き合っていくことになるかと思えます。結果としてICT技術を使うかはわかりませんが、それらに対してどういう風にICT技術を活用していけるかを検討し、基本計画に盛り込んでいけたらと考えています。

委員 聴覚障害など、障害者への災害時の情報提供についても対策を考えていただきたいと思えます。

議論・意見の交換終了後、次回の懇話会を11月上旬に開催することを調整の上、閉会しました。